

平成22年度 各会計 決算審査のあらまし



9月22日の本会議において、決算特別委員会を設置し、平成22年度各会計決算の審査を付託しました。
引き続き委員会を開会し、委員長、副委員長および理事を選出しました。

▽委員 議長および議員 選出監査委員を
除く全議員

▽委員長 石田 秀男
▽副委員長 塚本 芳弘
▽理事 宮崎 貴之
渡部 茂
吉田あつみ

委員会での審査は10月3日から10月17日までの計7日間行われました。慎重審査ののち、最終日10月17日には、各会派の意見表明を行い、採決の結果、一般会計・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計は賛成多数で、老人保健医療特別会計は全会一致で認定すべきものと決定し、10月21日の本会議で認定しました。

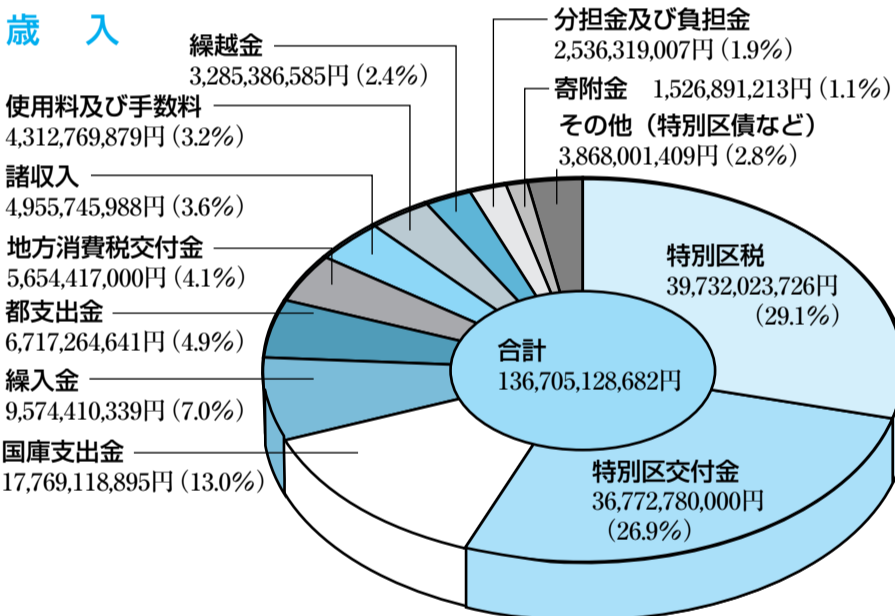
**決算特別委員会
を設置**

平成22年度 決算の概要

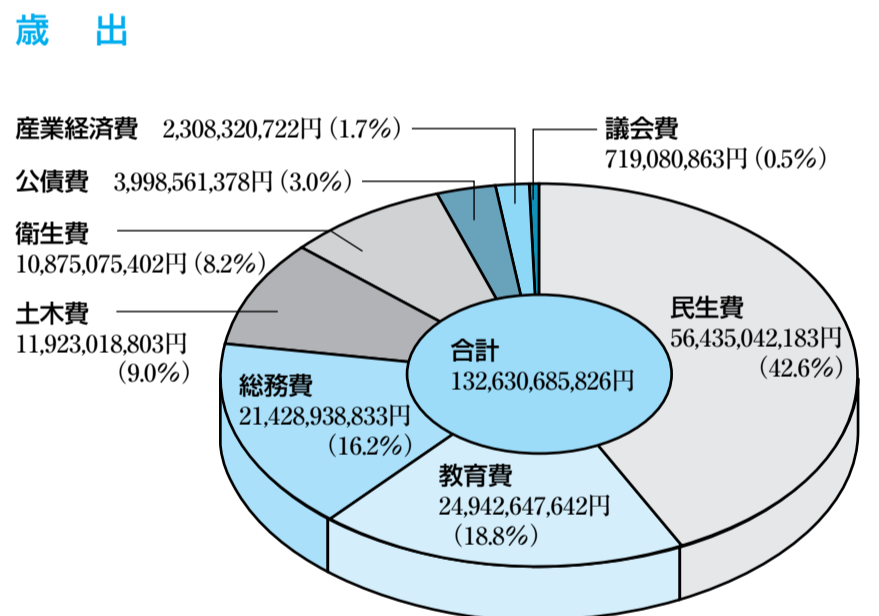
会計	歳入決算額	歳出決算額	翌年度へ繰越
一般会計	1,367億 512万8,682円	1,326億3,068万5,826円	40億7,444万2,856円
国民健康保険事業会計	357億4,842万5,408円	339億6,524万4,442円	17億8,318万 966円
老人保健医療特別会計	3,070万2,260円	3,070万2,260円	0円
後期高齢者医療特別会計	60億9,162万1,772円	60億5,923万 749円	3,239万1,023円
介護保険特別会計	175億9,693万9,977円	174億7,225万8,116円	1億2,468万1,861円

一般会計歳入歳出決算内訳

歳入



歳出



決算特別委員会 総括質疑

決算特別委員会の7日目に、各会派を代表して11人の委員が、各会計歳入歳出決算の全般にわたり総括質疑を行いました。以下概要をお知らせします。

渡辺 裕一 委員(自民)

1 産業振興(都市型観光の推進、魅力あるしながら水族館づくり、観光協会と連携した取り組み等)について
2 協働の推進(協働団体支援、寄付文化の育成、地域振興基金の活用等)について

中塚 亮 委員(共産)

1 特別養護老人ホームの増設(平塚橋会館改築計画、特養の具体的な整備計画、入所調整会議での申込状況と結果、旧第一日野小の跡地活用等)について
2 がれき対策(都の受入協定と特別区長会の対応等)について
3 防災対策(災害時における個人情報管理等)について

山内 晃 委員(自民)

1 都区のあり方検討(これまでの成果、都と区の役割分担、都議会との連携等)について
2 区が保有する有価証券(株主としての意識、南東京ケーブルテレビ、臨海高速鉄道等)について

飯沼 雅子 委員(共産)

1 放射能(測定体制の充実、ホットスポットの確認や除染などの対策、内部被ばくを避けるための食品の検査・安全性等)について
2 子育て(保育園の増設、待機児解消等)について

金野 孝子 委員(公明)

1 高齢者福祉(特養ホームの建設、高齢者の見守り等)について
2 防災対策(防災行政の現状、女性の視点を生かした地域防災計画等)について
3 大井町駅周辺のまちづくり(駐車場の整備等)について

高橋 慎司 委員(無品)

1 夏休みの補習について
2 福祉(新児童福祉法、児童相談所の移管等)について
3 健康センターについて
4 防災対策について
5 子どものアイデアを生かした鯉洲運動公園改良工事について

浅野 浩之 委員(公明)

1 地球温暖化対策(地域推進計画と基本計画との整合性、省エネ対策等)について
2 防災対策(地震防災マップの作成、心理面の対策、防災ラジオ等)について

西本 貴子 委員(無品)

1 放射能対策(区独自の基準、高い数値への対応、学校等の給食への対応等)について
2 特別支援教育(小中一貫教育要領特別支援教育編等)について
3 保育行政について

石田 慎吾 委員(民政)

1 水辺の活用(震災後の考え方と今後の展開、棧橋の活用、目黒川・立会川の浄化等)について
2 事務事業評価(結果の反映状況今後の取り組み等)について
3 防災対策(帰宅困難者対策、避難所、防災計画等)について

大西 光広 委員(みんな)

1 区民生活の向上(高齢者の雇用創出、駐輪場の改善等)について
2 区の自主財源確保等について
3 教育(子どものボランティア、心の教育等)について

井上八重子 委員(民政)

1 放射能対策(学校給食、食品の